

大阪体育大学学生の体力を測る —2020年度定期体力測定中止について—

足立哲司¹⁾³⁾・曾根裕二²⁾³⁾・中井俊行¹⁾³⁾・梅林薫¹⁾³⁾

受付日 2020年11月30日 受理日 2020年12月26日

Physical fitness assessment of OUHS students

—Report on cancellation of regular physical fitness test in 2020—

Tetsuji Adachi, Yuji Sone, Toshiyuki Nakai, Kaoru Umabayashi

Keywords: Physical fitness test, COVID-19, University student

キーワード: 体力測定、新型コロナウイルス感染症、大学生

1. はじめに

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の年に、中国・湖北省武漢が発生源とされる新型コロナウイルス感染拡大によって、46年間続いた本学の定期体力測定が中止となった。そこで本稿では、2020年度定期体力測定の準備から中止までの経緯、そして2021年度開催に向けての実施案を報告する。

2. 定期体力測定中止までの経緯

2020（令和2）年3月11日（水）に開催された危機管理委員会において定期体力測定中止が決定した（3月12日配信された危機管理委員会からのメールによる）。日本時間の3月12日午前2時（ジュネーブ 11日；ロイター）にWHO（世界保健機関）が新型コロナウイルス感染拡大はパンデミックに相当すると表明した。例年、定期体力測定と同時期に行われる健康診断については、学校保健法や学生の試合出場、就職活動、学外への実習参加への必要性から中止ではなく延期となった。3月に予定されていた卒業式や4月の入学式も中止が決定し、新学期の授業開始時期は未定となった。

スポーツ科学センター執行会は、危機管理委員会からの中止の報告を受けて緊急ミーティングを開催した。その審議事項は、定期体力測定中止に伴う対応であった。定期体力測定はS&Cルーム、ATルーム利用との紐付けがなされており、健康診断実施日にはATスタッフによるスポーツ特別AO入試の新入生におけるメディカルチェックも含まれるためである。審議の結果、4月は中止とし新型コロナ

1) 大阪体育大学 体育学部 2) 大阪体育大学 教育学部 3) 大阪体育大学スポーツ科学センター 体力測定部会

ナウイルス感染拡大の終息を見て9月頃までに実施できる状況であれば行う方向で検討することが決定した。但し、S&Cルーム・ATルームの利用については、2020年度は特例措置として定期体力測定実施なしでの利用を許可する方向で検討された。

3. 定期体力測定の告知

定期体力測定実施のアナウンスは、各学部の教授会において令和2年度の体力測定部会から告知することになり、3月4日（水）の教育学部教授会では曾根体力測定部会委員、3月5日（木）の体育学部教授会では足立体力測定部会部会長から2020年度定期体力実施について報告された。報告に先立ち、新型コロナウイルス感染拡大によって定期体力測定は「実施」「中止」「延期」など未曾有の事態に備えて準備していることが示された。

定期体力測定の会場は2019年度と同会場の実施であったが、測定用紙回収所となるダンス体育館のみ変更とした。その理由は4月4日（土）にダンス部のOB会実施・準備に伴う会場変更の要望があり、2020年度のみ第2体育館2F多目的体育館へ変更して実施することが説明された。学生測定員は2020年度から全学的取り組みとしてゼミ単位での学生招集となり、体育学部から梅林、中井、池島、比嘉、小林、足立ゼミ、教育学部から植木、金子、竹内、陳、浜上、曾根ゼミの総勢150名の学生に依頼したことが報告された。また定期体力測定は全学的な取り組みであり教員数を2019年度の20名から40名に増員した。教員増員のねらいは、教員への定期体力測定への関心を高めることと新任教員への学内行事への参加を機に学生との交流も兼ねることであった。また例年、定期体力測定日と体育学部健康・スポーツマネジメント学科のフレッシュマンセミナー（4月6日（月）・7日（火））、陸上競技部の大阪インカレ（4月7日（火）・8日（水））と日程が重なっていたが、2020年度は日程がズレたため、全学的な教員参加となった。しかしながら、2020年度は、水上競技部（川島准教授、尾関准教授）と柔道部（松田准教授、生田准教授）が試合と重なったため、その部活動に携わる教員と菅生教授から、例年、学生相談室カウンセラーは学生対応があり定期体力測定からは除外されているという申し入れがあり、その対応を行った。そのため梅垣教授、楠本教授、中房准教授、石居講師の4名に交代を依頼した。2020年度の役割分担表は表1に示した。

4. スケジュール

2020年度の定期体力測定は、4月3日（金）の午前に3年生、午後に2年生、4月4日（土）の午前に4年生、午後に1年生というスケジュールであった。これは2019年度実施の1日目と2日目の学年が入れ替わる形であった。また、再定期体力測定日は4月18日（土）を予定していた。

定期体力測定までのスケジュールは、4月1日（水）9時から第6体育館の会場設営を行い、その後学生測定員への事前講習会を実施。また、はじめての試みとして、事前講習会にて学生測定員の事前測定を行う予定であった。各会場の設営準備は、4月2日（火）14時から17時に行うことになっていた。

表1. 2020年度実施資料

○令和2年度定期体力測定について

<日程>

4月3日（金）：午前：体育・教育3年生 午後：体育・教育2年生

4月4日（土）：午前：体育・教育4年生 午後：体育・教育1年生

測定員は、体育学部の梅林、中井、池島、比嘉、小林、足立先生、教育学部の植木、金子、竹内、陳、浜上、曾根先生の各ゼミの新3年生、新4年生を中心に総勢150名前後を予定しております。

教職員役割分担

本部：梅林、足立、中井、曾根裕* *…教育学部教員 () 新任教員

項 目	3日（金）		4日（土）	
	午前	午後	午前	午後
3分間SST (6体)	高本	池島	伊原	徳山
垂直跳び (4体)	徳田	長江	金子*	宮地
立ち幅跳び (4体)	貴嶋	白井	森田	中房
長座体前屈 (4体)	村上雷	友金	浜上*	三島
握力 (1体2F)	梅垣	(滝沢)	竹内*	熊崎
背筋力 (1体2F)	松尾	(中西)	陳*	比嘉
上体起こし (1体2F)	楠本	小林	田原	石居
反復横跳び (1体2F)	下川	藤原	中山	手塚
測定用紙回収所 (2体2F)	小菅	平川	下河内	石川

(1体2F：バスケットボール、2体2F：多目的、4体：バレーボール、6体：多目的)

*3日、4日とも、午前担当者は8：50、午後は12：50に担当部署に来ていただく予定です。

5. 2021年度の定期体力測定に向けて

2020年度は、4月20日（月）から遠隔（Web）授業、6月19日（金）から対面授業が始まった。特に実技・実習における対面授業での新生は、例年に比べて明らかに体力低下が見受けられた。そのことから学生のコロナ禍における自粛生活は、運動不足やそれに伴う体力低下、体重過多を引き起こす一因となることも考えられた。

2020年度の定期体力測定は、新型コロナウイルス感染拡大によって中止となった。46年間続いてきた定期体力測定を止めることは簡単であるが、如何に継続していくのかということが重要であり、コロナ禍での体力を把握することは体育大学の義務であるとも考えられた。

新型コロナウイルス感染拡大が今後どのような動きになるのか予想できない中で、次年度に向けたスケジュールを立てる必要があった（11月4日現在）。教育学部による2021年度のスケジュール案として、健康診断は3月29日（月）から4月1日（木）までの4日間で行う方向であり、定期体力測定も健康診断後に実施できるスケジュールで調整している。これまでと同じ学生測定員数で4日間の定期体

力測定を行うには、2日間の交代制にしたり、学生の配置人数を工夫したりする必要がある。各会場では3密を避けることが要求されるため、その対策として測定項目を8種目¹⁾から4種目（筋力：握力、筋パワー：立ち幅跳び、持久力：3分間SST、敏捷性：反復横跳び）に絞り、身体組成計測（身長、体重、体脂肪率）を加えた内容で考えている。データの入力作業は学生測定員ではなく、受講生がスマホを使ってGoogle formへデータ入力し送信させる方法を検討している（図1）。さらにデジタルデータだけではデータの信憑性が低いため、従来通り、記入用紙を用いてデジタルデータと記入用紙の正誤作業を行いデータの確認をする必要がある。データ入力時には、タイムスタンプが記録されるため、学生の受講時間が把握できる。また学生は、各自のアカウントでログインしてデータ入力するために、事前にログイン用のパスワードを確認させておく必要がある。収集したデータは、Google スプレッドシートに集計されるため、これまで通り偏差値法での順位付けを予定している。フィードバック方法は、Googleサイトを立ち上げ、学籍番号、氏名を入力してログインする方法で結果を閲覧できるようにしたい。2020年度のオンライン授業によって、学生や教職員のデジタルスキルがアップしたことは言うまでもない。2021年度は、このデジタルスキルを活用した定期体力測定を実施したいと考えている。

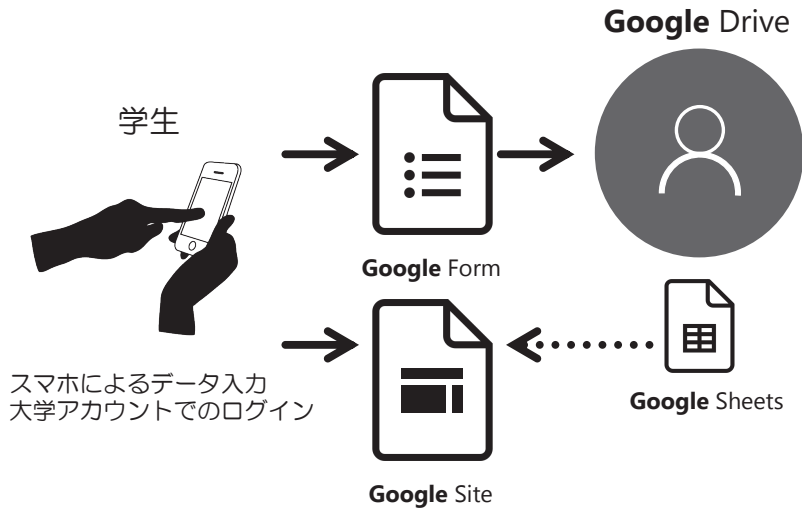


図1. 測定結果入力からフィードバックまでの流れ

参考文献

- 1) 足立哲司、中井俊行、曾根裕二、藪中佑樹、丸谷賢弘、梅林薫（2020）大阪体育大学学生の体力を測る—2019年度集計結果—.大阪体育大学紀要, 51: 49-61.